

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 22日

事業所名 たいむクラブ永犬丸TWO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数によって、パーティションを活用して活動スペースを作っています
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準に基づき、適切な人数を配置しています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		カード、表などを表記し、視覚的に情報が入るように配慮している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		1日2回の換気・活動前には館内消毒を行っています
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングの時間を利用し、今後の目標や振り返りを話し合い、意見交換をしています
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年2回の面談時に事業所への要望をお聞きしています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者による外部評価は行っていません。今後検討していきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修、外部研修ともに参加者のアウトプットの時間を設けています
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを元に原案を作成し、保護者の意向を取り入れて作成しています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント表を活用し、子どもの適応行動の把握に用いている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画には子どもの支援に必要な項目が適切に選択され設定されています
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		必要に応じて確認をしながら支援を行う
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者様が楽しめるような活動を毎月職員間で話しています
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう、職員間で意見交換し作成しています
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団支援の中での個別支援をテーマに指導にあたっています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には、連絡事項等の打ち合わせを行っています。また、目視で確認できるようタイムスケジュールを活用しています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行い、細々な点でも共有し次の支援につなげています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		細々な事、気付いた点は業務日報への記載を徹底しています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回に加え、必要に応じてモニタリングを行う
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者の適任者が出席しています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各機関と連携を取り、支援につなげられるようにしている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		病院や関係機関と連携を図りながら、必要な支援を行っている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		保護者より病院受診、服薬の連絡をもらい、情報共有するようにしている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		他の通所施設とも情報共有している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校と情報共有しながら適切な支援が行えるように取り組んでいる
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		積極的に研修へ参加しています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	企画を設けます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	今後、検討する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時の受け渡しの時間を利用し、その日の出来事や今後の課題等を情報共有しています
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者に寄り添いながら、状況に応じ支援を行っている	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約内容や重要事項等を説明しています	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画書を渡す際、説明をしてサインを頂いている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談や家庭訪問を行い、現在の様子や悩み等を伺い、必要な助言を行っています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同志で関われるような機会を設けます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子ども・保護者の声には耳を傾け、迅速に対応できるようにしています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやSNSで発信しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠付き書庫へ書類やパソコンの管理を実施しています。また個人情報は目の見える場所へ保管しないことを徹底しています
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		適時・適応した対応ができるように心掛けています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の住民の方、保護者を招待するバザーを開催しています
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成しています。また定期的に目を通し職員間で共有する時間を設けています。又、研修を通し、訓練にも取り組んでいます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に4回、地震、火災、水害等の自然災害に備える訓練を行っています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントの際に聞き取りをし確認しています。また変更があった際にはお知らせ頂くようお願いしています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー対応をしています
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を提出し、ミーティングやアプリケーションを活用し全事業所で共有しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		市が開催している虐待防止社外研修へ参加し社内研修にて共有しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		保護者の方へ説明、同意を頂き、個別支援計画書に記載しています

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。